

経営比較分析表（令和3年度決算）

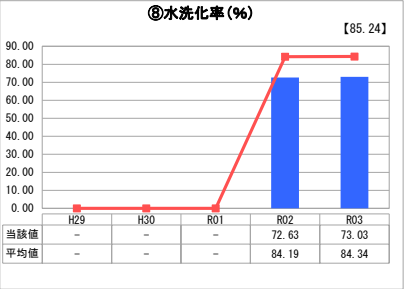
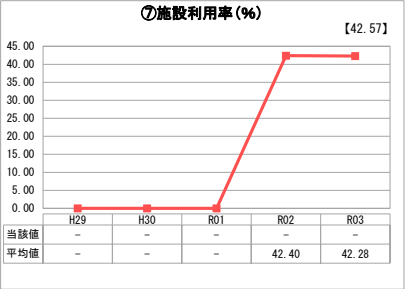
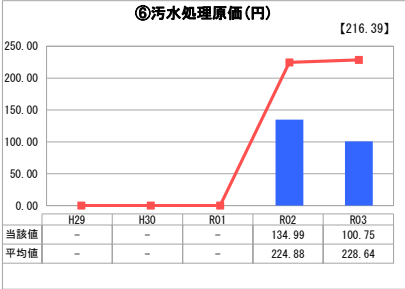
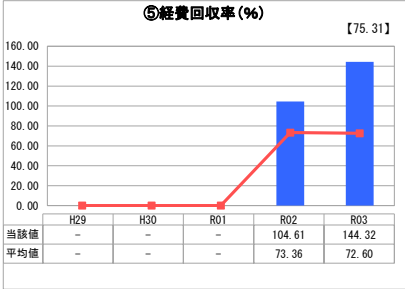
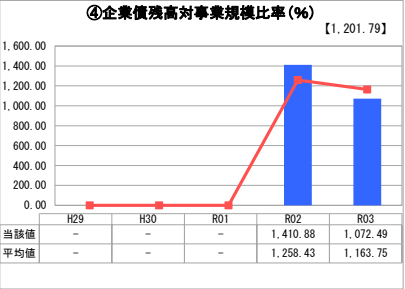
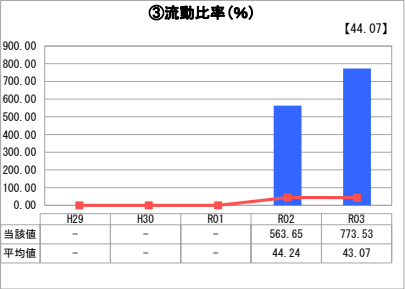
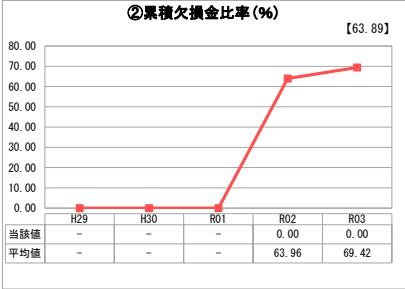
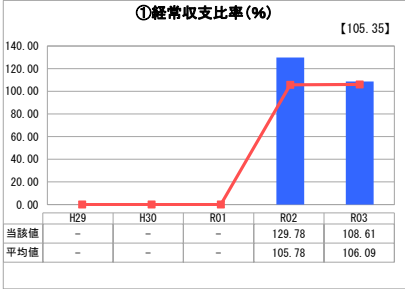
千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	87.34	1.33	77.78	2,178

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
107,633	123.79	869.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,435	1.09	1,316.51

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

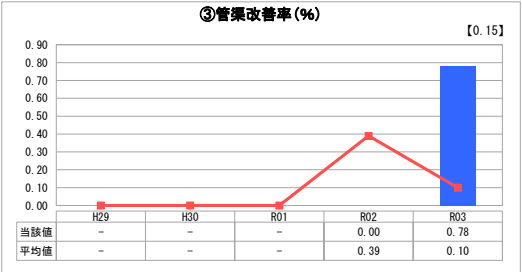
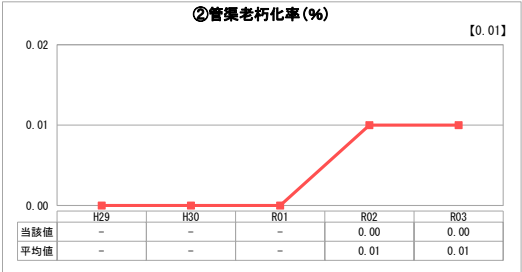
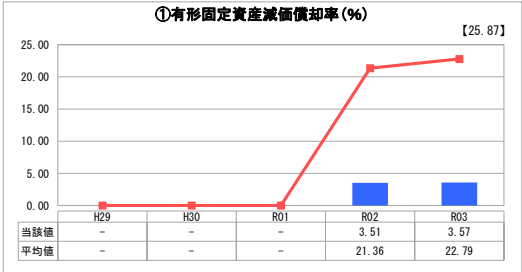
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超えていることから単年度収支は黒字となっている。
②累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため、当該指標の実績値はありません。
③流動比率は、100%を超えていることから短期的な債務に対する支払能力を有している状況である。
④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と比較して低い数値となっている。
⑤経費回収率は100%を超えていることから、汚水処理費を使用料で賄えている状況である。
⑥汚水処理原価は、類似団体平均値に比べ低いものの、高い数値となっていることから、接続率の向上に努め、有収水量の増加を図っていく。
⑦施設利用率は、単独での下水処理場を有していないため、当該指標の実績値はありません。
⑧水洗化率は、類似団体平均値と比較して低い数値となっており、接続率の向上に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産原価償却率は、類似団体平均値を下回っている。
②管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠を有していないため、当該指標の実績値はありません。
③管渠改善率は、ストックマネジメント計画に基づき、管渠の状況確認等を行い、単に年数だけではなく、管路の状況を把握したうえで適切な時期に実施して行く。

2. 老朽化の状況



全体総括

印西市の特定環境保全公共下水道は、公衆衛生の向上及び手賀沼・印旛沼の水質改善を目的に進められており、地理的な要因等から維持管理コストも多額となっている。接続率の向上により使用料収入の確保を図るとともに、健全な経営と公衆衛生及び水質改善の目的達成とのバランスを図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。